

---

藤 沢 市 北 部 環 境 事 業 所  
新 2 号 炉 整 備 ・ 運 営 事 業  
審 査 講 評

---

平成 29 年 11 月

藤沢市北部環境事業所  
新 2 号炉整備・運営事業審査委員会



藤沢市北部環境事業所新 2 号炉整備・運営事業 審査講評  
目 次

---

第 1 章 事業概要.....	1
1 事業名称.....	1
2 公共施設の概要等 .....	1
3 事業期間.....	1
4 事業方式.....	1
第 2 章 審査方法等.....	2
1 事業者の選定方法 .....	2
2 優先交渉権者決定までの経過 .....	2
3 審査委員会の設置 .....	3
4 審査委員会の開催経過 .....	4
5 優先交渉権者決定の手順 .....	5
6 審査手順.....	6
第 3 章 最優秀提案者選定結果 .....	9
1 資格審査.....	9
2 提案書の基礎審査 .....	9
3 提案書の非価格要素審査及び提案書に関するヒアリング .....	9
4 価格審査.....	11
5 総合評価値の算出 .....	11
6 最優秀提案者の選定 .....	11
7 審査の講評.....	12
第 4 章 総評.....	15

---

## 第1章 事業概要

### 1 事業名称

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業

### 2 公共施設の概要等

(1) 名称

藤沢市北部環境事業所新2号炉

(2) 建設予定地

項目	概要
計画地所在地	神奈川県藤沢市石川 2168 番地
敷地面積	約 15,058 ㎡
工事範囲	約 7,853 ㎡

(3) 施設の概要

ア 新設する施設（藤沢市北部環境事業所新2号炉）

施設の種類	概要	
エネルギー回収型 廃棄物処理施設	処理対象物	可燃ごみ、し尿汚泥、破碎可燃物（リサイクルプ ラザ藤沢から搬入）
	処理方式	全連続燃焼式（ストーカ式）
	処理能力	150t/日（150t/24h×1 炉）

イ 解体撤去する施設（既存藤沢市北部環境事業所2号炉）

施設の種類	概要	
既存藤沢市北部環境 事業所2号炉	処理方式	全連続燃焼式（ストーカ式）
	施設規模	150t/日（150t/24h×2 炉）既設2号炉
	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、 鉄骨造
	階数	地下1階+地上3階
	その他施設	煙突

### 3 事業期間

事業期間等は、以下のとおりです。

事業期間：特定事業契約締結日から25年間。

設計・建設期間：事業契約締結日から2023年（平成35年）3月31日まで。

運営・維持管理期間：2023年（平成35年）4月1日から2043年（平成55年）3月31日まで。

### 4 事業方式

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業（以下「本事業」という。）は、既存藤沢市北部環境事業所2号炉（以下「既存2号炉」という。）の解体、藤沢市北部環境事業所新2号炉（以下「新2号炉」という。）の設計・建設及び運営に係る業務を事業者が一括して行うDBO（Design：設計、Build：建設、Operate：運営）方式により実施します。藤沢市は、既存2号炉の解体、新2号炉の設計・建設及び運営に係る資金を調達し、新2号炉を所有します。

## 第2章 審査方法等

### 1 事業者の選定方法

事業者の選定方法は、公募型プロポーザル方式により実施しました。

### 2 優先交渉権者決定までの経過

優先交渉権者決定までの経過は、表1のとおりです。

表1 優先交渉権者決定の経過

日 時	内 容
2017年（平成29年） 4月 5日（水）	公募公告 募集要項等（募集要項、要求水準書、事業者選定基準、様式集、基本協定書（案）、基本契約書（案）、建設工事請負契約書（案）及び運営・維持管理業務委託契約書（案）の公表
2017年（平成29年） 4月 5日（水） ～ 4月 21日（金）	募集要項等に関する質問の受付（第1回）
2017年（平成29年） 5月 9日（火）	募集要項等に関する質問回答の公表（第1回）
2017年（平成29年） 5月 16日（火）	参加表明書及び資格審査申請書類の受付
2017年（平成29年） 5月 26日（金）	資格審査結果の通知
2017年（平成29年） 5月 30日（火）	資格審査結果に関する説明要求の受付
2017年（平成29年） 6月 13日（火）	対面的対話の実施
2017年（平成29年） 6月 23日（金）	対面的対話の実施議事録の公表
2017年（平成29年） 6月 19日（月） ～ 6月 27日（火）	募集要項等に関する質問の受付（第2回）
2017年（平成29年） 7月 7日（金）	募集要項等に関する質問回答の公表（第2回）
2017年（平成29年） 8月 10日（木）	提案書類の受付
2017年（平成29年） 10月 24日（火）	提案の審査及び最優秀提案者の選定
2017年（平成29年） 10月 31日（火）	優先交渉権者の決定及び公表

### 3 審査委員会の設置

提案審査は、公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者等 10 名の委員により構成される藤沢市北部環境事業所新 2 号炉整備・運営事業審査委員会(以下「審査委員会」という。)において行いました。

[委員の構成]

#### 第 1 回～第 3 回

委員長	横田	勇	静岡県立大学 名誉教授
副委員長	橋詰	博樹	多摩大学グローバルスタディーズ学部教授
委員	石原	史也	藤沢市計画建築部長
委員	菅	孝能	株式会社山手総合計画研究所代表取締役 一級建築士
委員	戸倉	裕治	戸倉会計事務所 公認会計士
委員	金子	正彦	藤沢市環境部長
委員	黛	道典	藤沢市環境総務課長
委員	山上	明男	藤沢市石名坂環境事業所長
委員	和田	佳久	藤沢市北部環境事業所長
委員	渡邊	伸二	藤沢市環境事業センター長

#### 第 4 回～第 5 回

委員長	横田	勇	静岡県立大学 名誉教授
副委員長	橋詰	博樹	多摩大学グローバルスタディーズ学部教授
委員	石原	史也	藤沢市計画建築部長
委員	菅	孝能	株式会社山手総合計画研究所代表取締役 一級建築士
委員	戸倉	裕治	戸倉会計事務所 公認会計士
委員	黛	道典	藤沢市環境部長
委員	山口	剛	藤沢市環境総務課長
委員	山上	明男	藤沢市石名坂環境事業所長
委員	和田	佳久	藤沢市北部環境事業所長
委員	佐藤	謙一	藤沢市環境事業センター長

#### 4 審査委員会の開催経過

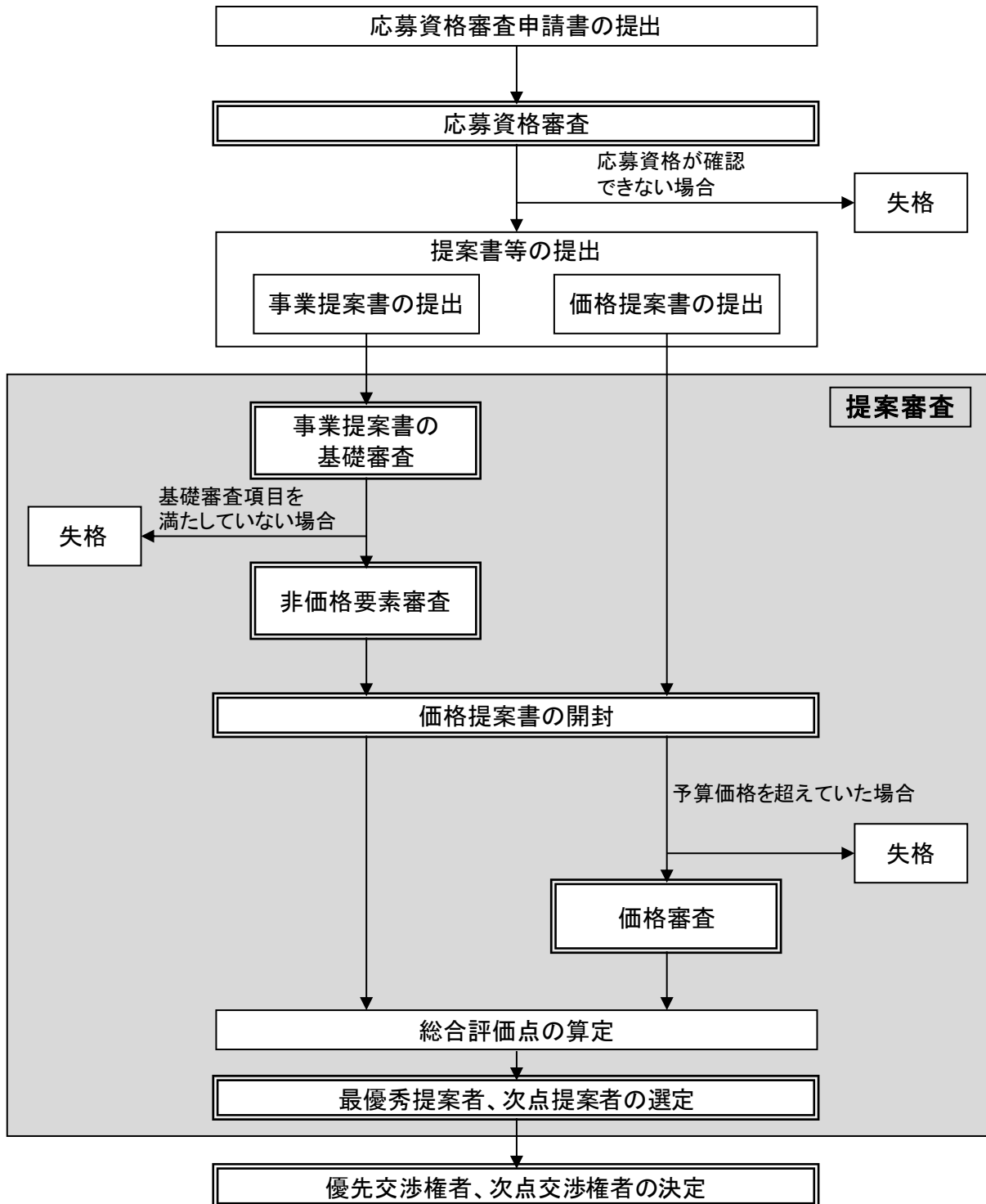
本事業の事業者選定における審査委員会の開催経過は、表2のとおりです。

表2 審査委員会の開催経過

日 付	内 容
2016年 (平成28年) 12月 26日 (月)	第1回審査委員会 (事業概要及び実施方針(案)に関する説明・審議)
2017年 (平成29年) 1月 30日 (月)	第2回審査委員会 (事業者募集書類に関する審議)
2017年 (平成29年) 3月 21日 (火)	第3回審査委員会 (事業者募集書類に関する審議)
2017年 (平成29年) 10月 6日 (金)	第4回審査委員会 (事業提案書の基本審査、提案内容に関する意見交換)
2017年 (平成29年) 10月 24日 (火)	第5回審査委員会 (事業者ヒアリング、非価格要素審査、価格提案書の開封、価格審査、総合評価点の算定、最優秀提案者の選定、審査講評の審議)

## 5 優先交渉権者決定の手順

優先交渉権者決定の手順については、図1のとおりです。



※最優秀提案者を選定する委員会の事務は図中網掛け部分

図1 優先交渉権者決定の手順



## 6 審査手順

### (1) 応募資格審査

応募資格審査は、参加表明書及び応募資格審査申請書の提出書類により、募集要項に記載の応募者の備えるべき参加資格要件を満たしていることを事務局において確認しました。

### (2) 提案審査

#### ア 提案書の基礎審査

審査委員会は、提案書等に記載された内容が、事業者選定基準書に示す基礎審査項目を満たしていることを確認しました。確認内容は、表3のとおりです。

表3 確認内容

確認項目	内 容
提案書等の確認	・ 提出された提案書等がすべて揃っていること。
提案書の基礎審査	・ 事業提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。 ・ 募集要項及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。 ・ 事業提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

#### イ 非価格要素審査

##### (7) 審査項目及び配点

審査委員会は、表4に示す審査項目及び配点に対し、提案書等に記載された内容について審査しました。

表4 審査項目及び配点

審査項目				NO.	配点
大項目	中項目	小項目	細目		
1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項					
(1) 適正な環境保全対策を講じた環境負荷の少ない施設					
	ア	環境保全	① 公害防止基準を満足するための取組	1	4点
	イ	周辺環境に調和した施設	① 周辺環境に調和した施設	2	4点
	ウ	環境学習計画	① 見学者対応及び環境学習計画	3	4点
(2) 施設の長寿命化を見据えた安全、安定な施設					
	ア	建設関連	① 工事工程	4	4点
	イ	配置動線計画	① 屋外配置動線計画	5	4点
			② 屋内配置動線計画	6	3点
	ウ	施設の安全性	① トラブルの未然防止、事後対策及び非常時の安全確保	7	4点
	エ	施設の安定稼働	① 処理システムの信頼性	8	4点
			② 基本性能の維持	9	4点
	オ	災害復興拠点	① 設備の強靱化	10	4点
(3) 資源エネルギーの有効利用に優れた施設					
	ア	エネルギーの有効活用	① 発電効率及び発電量	11	4点
2 事業計画に関する事項					
(1) 組織体制					
	ア	組織体制	① 組織体制・人員配置計画	12	3点
(2) 経営計画・事業収支計画					
	ア	事業収支計画	① 経営計画及び事業収支計画策定の考え方及び事業の継続性に係る担保	13	2点
(3) リスク管理方法					
	ア	リスクの管理及び対処方法	① リスクへの対処方法に関する考え方	14	2点
			② セルフモニタリングの実施内容と頻度	15	2点
(4) 地域貢献					
	ア	地域経済及び地域社会への配慮	① 地域経済及び地域社会への配慮	16	4点
(5) その他					
	ア	その他の提案	① 本事業への有効性	17	4点
3 非価格要素審査の得点 計					60点
4 提案価格の定量化審査の得点				18	40点
5 総合評価点					100点

(イ) 事業提案に関する得点化方法

提案を求めている審査項目においては、表5に示す5段階評価により審査を行い、各委員が個別に行った評価の平均値により得点化を行いました。なお、審査委員会は、最終的な評価をする前に、提案書に関するヒアリングを実施し、提案内容の確認等を行いました。

表5 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において優れているとは認められない	配点×0.0

各審査項目の評価点については、次の算定式①により、各委員が個別に行った評価の平均値としました。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とし、その結果をもとに、各応募者の得点の合計を算出しました。

算定式①【非価格要素審査の得点算定式】
$\left( \begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{非価格要素審査の得点} \end{array} \right) = \frac{\sum (\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数(10名)}}$

ウ 価格審査

価格審査においては、価格提案書に記載された提案価格が予算価格を超えていないことを確認したのち、下記の算定式②により得点を付与しました。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値としました。

算定式②【価格審査の得点算定式】
$\left( \begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{価格審査の得点} \end{array} \right) = 40点 \times \left( \frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}} \right)$
<p>※ 最低提案価格：全応募者の提案価格のうち、最も低い価格。</p>

エ 総合評価値の算出

算定式③に示す算定式により、各参加者の総合評価値を算出しました。

算定式③【総合評価点の算定式】
$\left( \begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{総合評価点} \end{array} \right) = \left( \begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{非価格要素審査の得点} \end{array} \right) + \left( \begin{array}{c} \text{当該応募者の} \\ \text{価格審査の得点} \end{array} \right)$

### 第3章 最優秀提案者選定結果

#### 1 資格審査

平成29年4月5日に公募公告を行い、平成29年5月16日に参加表明書及び参加資格審査申請書を受け付けたところ、以下の2グループから申請がありました。

藤沢市は参加資格の確認を行い、平成29年5月26日に代表企業に対し、参加資格を有することを書面にて通知しました。

表6 参加表明書及び参加資格審査申請書等提出グループ

グループ名	かわせみグループ	ふじグループ
代表企業	荏原環境プラント株式会社	株式会社タクマ
[建設事業者の構成]		
構成員	荏原環境プラント株式会社	株式会社タクマ
協力企業	株式会社田中建設工業	日本国土開発株式会社 株式会社門倉組
[運営事業者の構成]		
構成員	荏原環境プラント株式会社	株式会社タクマ
協力企業	—	株式会社タクマテクノス

なお、審査委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案書等すべての書類において各グループの企業名は公表せず、表6のグループ名で識別して審査を行いました。

#### 2 提案書の基礎審査

平成29年8月10日までに参加資格を有する2グループより提案書等が提出されました。

提出された提案書等をもとに基礎審査項目に沿って基礎審査を行いました。提案書等を提出した2グループは、いずれも藤沢市が要求する水準を満足していること等が確認されたため、基礎審査に合格しているものと認めました。

#### 3 提案書の非価格要素審査及び提案書に関するヒアリング

審査委員会は平成29年10月24日に提案書の非価格要素審査を行いました。審査に際しては、提案書に関する応募者による説明(プレゼンテーション)及び委員による提案内容に対する質疑(ヒアリング)を実施しました。

非価格要素審査の審査項目について、適確な提案がなされているかの審査を行い、提案書に関する得点化を行いました。なお、評価は、藤沢市の要求する水準を満たしたうえで、より優れた提案に対して評価を行う加点方式としました。

審査結果を表7に示します。

表7 提案書の非価格要素審査の得点結果

審査項目				NO.	配点	かわせみ グループ	ふじ グループ
大項目	中項目	小項目	細目				
1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項					<b>43点</b>	<b>30.45</b>	<b>35.00</b>
(1)適正な環境保全対策を講じた環境負荷の少ない施設					<b>12点</b>	<b>8.70</b>	<b>9.40</b>
	ア	環境保全	① 公害防止基準を満足するための取組	1	4点	2.80	3.20
	イ	周辺環境に調和した施設	① 周辺環境に調和した施設	2	4点	2.60	3.30
	ウ	環境学習計画	① 見学者対応及び環境学習計画	3	4点	3.30	2.90
(2)施設の長寿命化を見据えた安全、安定な施設					<b>27点</b>	<b>19.15</b>	<b>22.20</b>
	ア	建設関連	① 工事工程	4	4点	2.50	3.70
	イ	配置動線計画	① 屋外配置動線計画	5	4点	2.80	3.40
			② 屋内配置動線計画	6	3点	1.95	2.40
	ウ	施設の安全性	① トラブルの未然防止、事後対策及び非常時の安全確保	7	4点	2.90	3.20
	エ	施設の安定稼働	① 処理システムの信頼性	8	4点	3.10	3.00
			② 基本性能の維持	9	4点	2.90	3.50
	オ	災害復興拠点	① 設備の強靱化	10	4点	3.00	3.00
(3)資源エネルギーの有効利用に優れた施設					<b>4点</b>	<b>2.60</b>	<b>3.40</b>
	ア	エネルギーの有効活用	① 発電効率及び発電量	11	4点	2.60	3.40
2 事業計画に関する事項					<b>17点</b>	<b>12.00</b>	<b>12.93</b>
(1)組織体制					<b>3点</b>	<b>1.80</b>	<b>2.33</b>
	ア	組織体制	① 組織体制・人員配置計画	12	3点	1.80	2.33
(2)経営計画・事業収支計画					<b>2点</b>	<b>1.20</b>	<b>1.60</b>
	ア	事業収支計画	① 経営計画及び事業収支計画策定の考え方及び事業の継続性に係る担保	13	2点	1.20	1.60
(3)リスク管理方法					<b>4点</b>	<b>2.80</b>	<b>2.90</b>
	ア	リスクの管理及び対処方法	① リスクへの対処方法に関する考え方	14	2点	1.45	1.45
			② セルフモニタリングの実施内容と頻度	15	2点	1.35	1.45
(4)地域貢献					<b>4点</b>	<b>3.40</b>	<b>2.70</b>
	ア	地域経済及び地域社会への配慮	① 地域経済及び地域社会への配慮	16	4点	3.40	2.70
(5)その他					<b>4点</b>	<b>2.80</b>	<b>3.40</b>
	ア	その他の提案	① 本事業への有効性	17	4点	2.80	3.40
合計					<b>60点</b>	<b>42.45</b>	<b>47.93</b>

#### 4 価格審査

提案書等を提出した各応募者及び審査委員会の立ち会いのもとで平成 29 年 10 月 24 日に開封を行い、予算価格の範囲内であることを確認しました。

審査委員会は、開封結果の報告を受け、価格審査に関する得点化を行いました。得点化の結果は、表 8 のとおりです。

表 8 価格審査の得点結果

項目	配点	かわせみグループ	ふじグループ
代表企業名	—	荏原環境プラント株式会社	株式会社タクマ
提案価格（税抜）	—	17,157,770,000円	21,400,000,000円
内建設費	—	10,334,950,000円	12,800,000,000円
内運営費	—	6,822,820,000円	8,600,000,000円
提案価格の定量化審査の得点	40点	40.00	32.07

#### 5 総合評価値の算出

平成 29 年 10 月 24 日に「提案書の非価格要素審査の得点」、「価格審査の得点」を加算して、表 9 のとおり総合評価値を算出しました。

表 9 総合評価値の算出結果

参加者		非価格要素 審査の得点 (A)	価格審査の 得点 (B)	提案価格（税抜）	総合 評価値 (A) + (B)
受付 グループ名	代表企業名				
かわせみ グループ	荏原環境プラント株式会社	42.45 点	40.00 点	17,157,770,000 円	82.45 点
ふじ グループ	株式会社タクマ	47.93 点	32.07 点	21,400,000,000 円	80.00 点

#### 6 最優秀提案者の選定

審査委員会は、上記の結果に基づき「かわせみグループ（代表企業：荏原環境プラント株式会社）」を最優秀提案者として、「ふじグループ（代表企業：株式会社タクマ）」を次点提案者として選定しました。

## 7 審査の講評

提案書に関する各審査項目における講評は、表 10 のとおりです。

表 10 各審査項目の講評

審査項目		講評
1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項		
(1) 適正な環境保全対策を講じた環境負荷の少ない施設		
ア 環境保全	① 公害防止基準を満足するための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、停止基準を遵守するための手法が提案されており、環境負荷の低減に配慮した各種方策が提案されている等を評価した。</li> <li>各グループとも、経験に基づく最新技術が導入されている点を評価した。</li> <li>ふじグループは、水銀対策が具体的に提案されており、その効果が期待できる点を評価した。</li> </ul>
イ 周辺環境に調和した施設	① 周辺環境に調和した施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、周辺環境と調和した景観形成へ十分な配慮がなされている点を評価した。</li> <li>各グループとも、緑化面積の最大化に向けた具体的な提案がなされている点を評価した。</li> <li>ふじグループは、周辺環境と調和した独自性の高いデザインを評価した。</li> </ul>
ウ 環境学習計画	① 見学者対応及び環境学習計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、見学者の安全性に配慮がなされている点を評価した。</li> <li>見学者にわかりやすい見学設備や学習プログラムにより興味を喚起する工夫が見られる点を評価した。</li> <li>かわせみグループは、見学者動線の安全確保が十分に配慮されている点を評価した。</li> </ul>
(2) 施設の長寿命化を見据えた安全、安定な施設		
ア 建設関連	① 工事工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、ごみの早期受け入れのための短縮した工事工程及び工事期間中の搬入に対して、1号炉の修繕期間を考慮した既存ごみピットとごみの早期受け入れに注力した提案である点を評価した。</li> <li>ふじグループは、工事期間中の1号炉搬入動線に対して、安全性と作業性に配慮した動線が提案されている点を評価した。</li> </ul>

審査項目		講評
イ 配置動線計画	① 屋外配置動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、狭隘な敷地内での安全性に配慮した提案がなされている点を評価した。</li> <li>各グループとも、車両と人の動線に最大限の配慮がなされている点を評価した。</li> <li>ふじグループは、1号炉の維持管理に十分に配慮した動線となっている点を評価した。</li> </ul>
	② 屋内配置動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、プラットホームにおける配置動線において安全性、作業性に配慮した提案がなされている点等を評価した。</li> <li>ふじグループは、搬入車両に対する動線、建物のレイアウトに工夫がみられる点を評価した。</li> </ul>
ウ 施設の安全性	① トラブルの未然防止、事後対策及び非常時の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、建設時及び運営時におけるトラブルの未然防止に配慮した提案がなされている点等を評価した。</li> <li>ふじグループは、トラブルの未然防止及び事後対策が詳細にわたって検討されている点を評価した。</li> </ul>
エ 施設の安定稼働	① 処理システムの信頼性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、豊富な建設実績に基づく最新技術を用いた提案がなされている点を評価した。</li> <li>各グループとも、ピット容量の最大化とごみの均質化に向けた提案がなされている点を評価した。</li> <li>かわせみグループは、ごみの貯留方法において、ごみ質変動に配慮した提案がなされている点を評価した。</li> </ul>
	② 基本性能の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、基本性能の維持に向けた維持管理に十分な配慮がなされている点を評価した。</li> <li>ふじグループは、損耗が予想される箇所に対する点検範囲や点検頻度に具体性がある点を評価した。</li> </ul>
オ 災害復興拠点	① 施設の強靱化	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、災害時の経験を踏まえた施設の強靱化に向けた提案がなされている点を評価した。</li> </ul>



審査項目		講評
(3) 資源エネルギーの有効利用に優れた施設		
ア エネルギーの有効活用	① 発電効率及び発電量	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、発電量の最大化に向けた工夫がなされている点を評価した。</li> <li>ふじグループは、売電電力量の最大化に向けた運営面での取り組みと高いレベルの発電効率が設定されている点を評価した。</li> </ul>
2 事業計画に関する事項		
(1) 組織体制		
ア 組織体制	① 組織体制・人員配置計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、必要とする有資格者を配置し、従業員教育が積極的かつ継続的になされている点を評価した。</li> <li>ふじグループは、十分な運転管理人員が配置されている点を評価した。</li> </ul>
(2) 経営計画・事業収支計画		
ア 事業収支計画	① 経営計画及び事業収支計画策定の考え方及び事業の継続性に係る担保	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、20年間を通じて安定した事業経営が提案されている点等を評価した。</li> <li>ふじグループは、事業安定性の担保が期待できる具体的な提案を評価した。</li> </ul>
(3) リスク管理方法		
ア リスクの管理及び対処方法	① リスク管理への対処方法に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、リスク管理方法、リスク管理体制について明確な提案がなされている点等を評価した。</li> </ul>
	② セルフモニタリングの実施内容と頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、重層的なセルフモニタリングの実施が提案されている点を評価した。</li> <li>ふじグループは、リスク顕在化時の適切なリスク管理がなされている点を評価した。</li> </ul>
(4) 地域貢献		
ア 地域経済及び地域社会への配慮	① 地域経済及び地域社会への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、地元企業の活用と地元雇用に配慮がなされている点を評価した。</li> <li>かわせみグループは、地域への最大限の配慮がなされている点を評価した。</li> </ul>
(5) その他		
ア その他の提案	① 本事業への有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループとも、本事業に有効と考えられる方策が提案されている点を評価した。</li> <li>ふじグループは、事業の効率性に繋がる提案がなされている点を評価した。</li> </ul>

## 第4章 総評

藤沢市は、藤沢市焼却施設整備基本計画に基づき、既存2号炉の解体と新2号炉の整備を計画してきました。事業方式については、北部環境事業所1号炉と同じく、民間の創意工夫を凝らした提案を取り入れることにより、より良質な施設の設計・建設業務と、安全で効率的かつ効果的な運営・維持管理業務を実施することを目的として、施設の設計・建設及び運営・維持管理を一括して事業期間を通して発注するDBO(Design - Build - Operate)方式を採用することとなりました。

審査委員会では、DBO事業を実施する事業者を選定するに当たって、透明性、公平性に最大限配慮するとともに、今後、本事業が藤沢市の環境行政の向上の一端を担うにふさわしい事業者を選定するべく審査を実施してきました。

本事業では、北部環境事業所1号炉やリサイクルプラザ藤沢、石名坂環境事業所等とともに藤沢市の循環型社会形成を担う施設として、環境と安全に配慮し、長期的な視点からコスト削減と安定的運営を図るとともに、市民、事業者により良い公共サービスを提供し、環境学習にも寄与できる施設として新2号炉の整備・運営を行うことが求められていました。

今回、提案に参加した2グループは、いずれも本事業の目的や各業務の内容について良く理解し、藤沢市が要求する水準を上回る内容の提案をしていただきました。2グループにおいては、提案内容が多岐にわたることから、提案書の作成においては多大な労力及び費用負担があったことが想定されます。そうしたなかで提案をまとめた応募者の熱意及び姿勢に敬意を表するとともに、深く感謝します。

審査においては、提案書及び提案価格に対して厳正なる審査を行った結果、荏原環境プラント株式会社を代表企業とするかわせみグループを最優秀提案者として選定するに至りました。

かわせみグループの提案については、見学者対応及び環境学習計画、処理システムの信頼性、地域経済及び地域社会への配慮に関する提案を特に高く評価しました。

審査委員会の審議においては、上記の事項を評価する一方で、かわせみグループの提案内容に対して、以下に示す配慮・要望事項が挙げられています。

- ① 公害防止基準を確実に遵守し環境負荷の低減に配慮した施設の実現や運転管理に努めること。
- ② 新2号炉の整備・運営に当たっては、隣接する北部環境事業所1号炉、リサイクルプラザ藤沢等の運営に最大限に配慮すること。
- ③ 新2号炉の安定稼働を維持するために必要な、点検や補修・更新を充実させ計画的に行うことで基本性能の維持に努めること。
- ④ 運営期間終了後も整備コストが最小限となるよう提案内容に基づき適切な業務を実施すること。

最後に、事業期間を通じてかわせみグループは、藤沢市関係部局はもちろんのこと、北部環境事業所1号炉運営事業者、リサイクルプラザ藤沢運営事業者とも連携した運営体制の構築に努めるとともに、地域との信頼関係を築きながら本事業を計画的かつスムーズに推進することを希望します。また、上記の配慮・要望事項について、提案及び契約の公平性を妨げない範囲において本事業をより良いものとするために藤沢市と十分な協議を行い、真摯な対応に努め、今後の事業期間にわたり質の高い公共サービスを提供するよう期待します。

平成29年11月

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業審査委員会 委員長 横田 勇